



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8835 URL http://www.taiheiyo.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 好紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 光幸 TEL 03-5830-1602
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,559	△6.1	50	△70.8	19	△87.3	7	△92.4
2019年3月期第1四半期	6,986	△12.2	173	120.7	155	175.0	103	535.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △97百万円(－%) 2019年3月期第1四半期 328百万円(－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.01	—
2019年3月期第1四半期	13.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	46,054	14,961	31.4	1,861.68
2019年3月期	43,897	15,292	33.7	1,904.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,482百万円 2019年3月期 14,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,700	5.8	320	△26.1	180	△47.9	110	△52.8	14.14
通期	36,000	△0.0	880	△5.0	600	△18.7	400	37.4	51.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	7,783,448株	2019年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,109株	2019年3月期	4,109株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	7,779,339株	2019年3月期1Q	7,779,502株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な個人消費などにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。国内においては今後の消費税増税による影響等、また海外においては米中貿易摩擦の激化などに伴う中国の景気減速等により、景気の先行きは不透明な状態となっております。

このような経済状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比較し、商事セグメントの輸入炭の販売数量が減少したこと等により、売上高は65億59百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

また、利益面については、商事セグメントの輸入炭販売数量が減少したこと及び当連結会計年度より北海道釧路市における石炭鉄道輸送事業から撤退したこと等により、営業利益は50百万円(同70.8%減)、経常利益は19百万円(同87.3%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円(同92.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①不動産セグメント

管理マンションの大規模修繕工事の受注が減少したこと等により、売上高は6億75百万円(前年同期比3.5%減)となったものの、前連結会計年度に取得した賃貸用不動産の賃料収入が増加したこと等により、営業利益は1億79百万円(同2.8%増)となりました。

②商事セグメント

主力事業である輸入炭の販売数量が減少したこと及び当連結会計年度より北海道釧路市における石炭鉄道輸送事業から撤退したこと等により、売上高は30億83百万円(同21.2%減)となり、営業損失は36百万円(前年同期は1億22百万円の営業利益)となりました。

③サービスセグメント

当連結会計年度より給食事業の不採算部門から撤退したこと等により、売上高は12億99百万円(前年同期比5.3%減)となり、有料老人ホーム運営事業の稼働率が低下したこと等により、営業利益は90百万円(同4.0%減)となりました。

④建設工事セグメント

建設工事の受注が増加したことにより、売上高は8億86百万円(同151.0%増)となり、営業利益は29百万円(前年同期は23百万円の営業損失)となりました。

⑤肥料セグメント

農業用肥料の販売数量が減少したことにより、売上高は6億14百万円(前年同期比5.1%減)となり、営業利益は15百万円(同6.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は460億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億56百万円増加となりました。この主な要因は、輸入炭の在庫の増加により商品及び製品が37億65百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が14億67百万円減少したことによるものであります。

負債は310億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億87百万円増加となりました。この主な要因は、短期借入金が9億37百万円増加したこと及び支払手形及び買掛金が8億54百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は149億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億31百万円減少となりました。この主な要因は、株主配当等により利益剰余金が2億25百万円減少したこと、及び所有する外国株式の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が1億5百万円減少したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は31.4%(前連結会計年度は33.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想については、現時点で2019年5月10日に公表した計画から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,263	5,413
受取手形及び売掛金	5,012	3,544
未成工事支出金	1,884	1,931
商品及び製品	4,605	8,370
原材料及び貯蔵品	136	124
その他	1,224	1,533
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	19,118	20,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,068	8,250
土地	12,129	12,060
その他(純額)	1,149	492
有形固定資産合計	20,348	20,803
無形固定資産		
その他	77	75
無形固定資産合計	77	75
投資その他の資産		
投資有価証券	1,712	1,560
長期貸付金	20	13
差入保証金	2,050	2,050
その他	582	652
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	4,352	4,265
固定資産合計	24,778	25,144
資産合計	43,897	46,054

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,132	3,987
短期借入金	8,075	9,012
賞与引当金	240	366
その他	3,444	4,092
流動負債合計	14,893	17,459
固定負債		
社債	2,125	2,100
長期借入金	4,356	4,362
受入保証金	3,686	3,676
債務保証損失引当金	1,408	1,408
退職給付に係る負債	724	719
資産除去債務	178	178
その他	1,233	1,189
固定負債合計	13,711	13,633
負債合計	28,605	31,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,347	3,347
利益剰余金	5,513	5,287
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,100	12,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	888	782
土地再評価差額金	833	833
退職給付に係る調整累計額	△9	△8
その他の包括利益累計額合計	1,712	1,607
非支配株主持分	479	478
純資産合計	15,292	14,961
負債純資産合計	43,897	46,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,986	6,559
売上原価	5,969	5,724
売上総利益	1,017	834
販売費及び一般管理費	843	783
営業利益	173	50
営業外収益		
受取配当金	26	34
貸倒引当金戻入額	2	—
その他	23	22
営業外収益合計	51	56
営業外費用		
支払利息	52	59
その他	17	27
営業外費用合計	70	87
経常利益	155	19
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	11	3
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	166	21
法人税等	57	13
四半期純利益	109	8
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	7

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	109	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	217	△107
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	219	△105
四半期包括利益	328	△97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321	△96
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
外部顧客への売上高	699	3,913	1,372	353	647	6,986	—	6,986
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	58	49	10	6	184	△184	—
計	758	3,972	1,421	363	654	7,171	△184	6,986
セグメント利益又は 損失(△)	174	122	94	△23	16	385	△211	173

(注) 1. セグメント利益の調整額△211百万円は、セグメント間取引消去△6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△204百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
外部顧客への売上高	675	3,083	1,299	886	614	6,559	—	6,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	50	21	105	0	230	△230	—
計	727	3,133	1,321	991	614	6,790	△230	6,559
セグメント利益又は 損失(△)	179	△36	90	29	15	278	△228	50

(注) 1. セグメント利益の調整額△228百万円は、セグメント間取引消去△17百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△211百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに所属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。